



南中だより

南の丘

令和4年10月7日
9号
由利本荘市立本荘南中学校

前期 実り多くして終了

今日で前期が終了しました。4月からの半年を経て、学習や行事、部活動を通して、生徒達は大きく成長したと感じます。学年棟を通ると、衣替え移行期間ということで、久しぶりの制服がやけに小さく見えて生徒の身体の成長を感じます。また、生徒同士の言動からは心の成長も実感しています。お陰様で大きな事故もなく、無事に前期の終業式を迎えることができることをありがたく思っております。

保護者の皆様方の日頃からのご指導、ご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

前期終業式 校長あいさつ

今日で令和4年度、前期が終了します。全校生徒の皆さん、大変ご苦勞様でした。先生は、始業式で2、3年生の皆さんに、次の3つの点について頑張ってくださいと、お話ししました。

一つ目は、「主体性」。これは、自分の意志や判断に責任を持って行動して欲しいという意味でした。

二つ目は、「凡事徹底」。これは、当たり前のことを当たり前に行うこと。

三つ目は、「率先垂範」。これは、人の先頭に立って物事を行い、模範を示すこと。

1年生の皆さんには、入学式で「主体性」について、お話ししましたが、覚えているでしょうか。

この3つを継続することで、自分の人間性が磨かれ、いつの間にか想像以上の力が身に付き社会に出てから通用する大人へと成長していきます。ということをお話ししました。

今日は節目にあたるので、この三つについて前期を振り返ってみたいと思います。

前期の主な行事として、新しい学級や部活動の仲間との出会いの中で、中体連春季大会や運動会、地区総体、全県総体、東北、全国大会、各種大会、コンクール、発表会、修学旅行、職場体験、校外学習そして南中祭と、いろいろありました。

1年生は、前半は中学校生活に慣れていないことから、分からないことがあったり、失敗したりしたことがあったのではないのでしょうか。でも、先生方からアドバイスをもらいながら、へこたれずに努力し、2、3年生の姿をみて様々なことを学び、少しずつ主体的に行動できるようになり、成長してきたと思います。

2年生は、昨年までの経験を活かし順調にスタートを切ったものの、部活動では地区総体以降3年生から渡されたバトンの重さに戸惑い、これから目指すべき姿を考えさせられ、現在も監督やコーチ等の指導の下、悩みながらも、さらなる高みを目指して日々努力していることと思います。

3年生は、学校生活や部活動、生徒会活動など全てにおいて、本荘南中学校の顔として、責任と自覚をもって、常に1、2年生の先頭に立って、凡事徹底はもちろん、率先垂範の姿勢で、密度の濃い時間を過ごしてきたと思います。南中三大行事である運動会や南中祭では、さすが三年生という場面が多数あったと思います。

全体として、1年生から3年生までが、これまでの経験を活かし、前期の締めである前日祭や南中祭において、総合学習発表や有志発表、演劇など全校生徒が一つになって保護者の皆さんに南中生として頑張る姿を披露することができ、本当に素晴らしかったと思います。

ところで、人間には、潜在（せんざい）能力と顕在（けんざい）能力というものがあります。潜在能力とは、まだ表に現れていない、内に秘められた能力のことです。逆に、すでに表に現れていて現在発揮されている能力は、顕在能力といいます。人は潜在能力の内、使っているのは数%ともいわれています。では、自分に秘められた潜在能力に気づき、発揮するためにはどうすればいいのでしょうか。

プロ野球の福岡ソフトバンクホークスで監督を務めた工藤公康さんは、ある番組で「潜在能力はみんながもっているもの。自分で引き出す訓練をしないとイケない。」と話していました。

ここでいう訓練とは、例えば、苦手だと思っていたことでも、地道にコツコツと取り組むことです。そうすることで苦手を克服し、時にはそれが得意になることもあるかもしれません。

また、好奇心を持って新しい分野に挑戦し続けると、これまで気付かなかった自分の得意なことに気付ける可能性もあります。

南中祭の皆さんのパフォーマンスは、顕在能力です。あの能力は、生まれたときから身に付いてきたわけではなく、小さい頃から、あるいは中学校になってから友だちや先生方から教えられたり「YouTube」などで練習を積み重ねたりして、身に付いてきた力だと思います。

潜在能力を引き出すには、時間がかかるかもしれません。しかし、みなさんは、まだ中学生です。これからいくらでも挑戦することができます。やったことがないからといって、はじめから諦めるのではなく、挑戦することで自分の能力に自分で気付いたり、仲間から気付かされたりすることがあります。前期は今日で終了しますが、来週から後期が始まります。自分の能力を決めつけず、様々なことに果敢に挑戦し、さらなる成長につなげてほしいと思います。

では、短い秋休みですが、じっくり充電し、また後期始業式にみんなで元気に会いましょう。

南中祭 大成功

南中三大行事の2つめ、南中祭が「喜笑天結～The sky is the limit」のテーマのもと、大成功のうちに終了することができました。この行事は、生徒会を中心に学年・学級の枠を超えて、それぞれの部門毎に全校一丸となって取り組み、その活動の中で生徒一人一人の成長を促すことが大きな目的です。当日は、残念ながら3年生の保護者のみの参観に制限させていただきましたが、たくさんの皆様から、大きな声援をいただきました。厚く感謝申し上げます。

また、**南中祭当日のユニセフ募金**へのご協力もありがとうございました。ご協力いただいた募金は、総額**24,453円**になりました。今後、ユニセフに送金いたします。



右上は、南中祭ポスターです。以下のみなさんの力作です。

テーマ原案…1B田澤信吾さん、2D加川璃夢さん ポスター作成…3B牧野絢さん